

阿曾浦漁場環境調査

観測日時

令和5年 8月 30日 水曜日 9時00分

天候 曇り
観測 南島種苗センター

観測地点 (水深)	水深 (m)	水温 (°C)	溶存酸素 (mg)	比重 (‰)	プランクトン (細胞/ml)			
1. 岸信夫 さん前 (15.0)	1	30.6	5.8		珪	1160		
	3	30.2	5.8	31	珪	1840		
	5	29.6	5.6		珪	270		
2. 大江 (12.8)	1	31.4	6.7		珪	180		
	3	30.2	6.2	31	珪	50		
	5	29.1	5.4		珪	30		
3. 道方 (10.0)	1	31.8	9.0		珪	190	矽ヤマ属	7060
	3	30.3	6.9	31	珪	160	"	860 プロロセントラム 610
	5	29.2	4.6		珪	30	"	40 " 20
4. 毛無 (17.0)	1	31.4	6.6		珪	400		
	3	29.8	5.9	32	珪	180	矽ヤマ属	320
	5	29.1	5.1		珪	310	"	80
5. この浦 (中央) (12.7)	1	30.7	6.1		珪	490		
	3	30.0	5.7	32	珪	40		
	5	29.9	5.6		珪	50		
6. この浦 (奥) (8.7)	1	31.8	6.3		珪	140		
	3	30.9	6.0	32	珪	460		
	5	31.0	6.1		珪	1750		
7. テラマル (20.3)	1	29.0	5.6		珪	160		
	3	28.9	5.6	33	珪	0		
	5	28.8	5.6		珪	40		
8. カマバ (11.3)	1	29.5	5.9		珪	150		
	3	28.9	5.5	33	珪	80		
	5	28.7	5.4		珪	170		

備考 「珪」は珪藻類です。(二枚貝の餌等になります。)
 今回検出された珪藻類の種類については「キートセロス属」と「シュード ニッチア」が多数でした。
 道方にて「矽ヤマ属」と「プロロセントラム デンタム」による赤潮が発生しています。
 この種類による魚介類への影響は報告されていませんが、水深1mの
 多い所で、「矽ヤマ属」が1ミリリットル当たり7060細胞検出されているため、酸欠等に注意してください。

※比重(塩分濃度)は塩分濃度計(ATAGO MASTER-S/Mill α)で測定し、値は‰(パーミル)表記とさせていただきます。
 南伊勢町沿岸域の海水の塩分濃度は33‰前後が基準となります。

観測 南島種苗センター